

# Going into New Frontiers with Society

The Tsukuba Conference envisions to create a brilliant future by exploring new frontiers of research in various fields such as space, deep sea, brain, nuclear fusion, and hydrogen energy, and by addressing challenges and opportunities in the Global South.



# 2025

2025  
**10.1** WED ▶ **3** FRI

つくば国際会議場 ハイブリッド開催

Tsukuba International Congress Center / Hybrid Event

参加費無料 No Participation Fee

### プログラム Program

科学の巨人 (Giants of Science) との対話セッション  
若手研究者等による Future Shapers Session  
ほか 30以上のセッションを開催予定

### Future Shapers Session

Special Plenary with Giants of Science

More than 30 sessions will be held

### 参加登録 Registration

8月上旬開始予定 公式サイトより事前登録  
Registration opens in Aug.2025



<https://tsukuba-conference.com>

### 主催 Organized by

筑波会議委員会 Tsukuba Conference Organizing Council

### 後援 Supported by

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 / 文部科学省 /  
厚生労働省 / 経済産業省 / 国土交通省 / 農林水産省 /  
茨城県 / つくば市



## 筑波会議 2025の開催について

世界の若手人材が、フロンティア(宇宙、核融合、水素エネルギー、AI)の諸課題を中心に、様々な課題を論じる30以上のセッションを実施

世界から産官学の若手を中心とする人材を集め、「社会と科学技術」の諸課題について議論し、ネットワークを形成する国際会議を10月1日(水)~3日(金)の3日間開催します。

### 筑波会議 2025 概要

主催: 筑波会議委員会 (委員長: 永田恭介 筑波大学長)

日程: 令和7年10月1日(水)~3日(金)

会場: つくば国際会議場(原則として、対面、又はハイブリッド形式で実施)

メインテーマ: "Going into New Frontiers with Society" 宇宙、深海、脳、核融合、水素エネルギーなどさまざまな分野における研究の新たなフロンティアを開拓し、グローバル・サウスにおける課題と好機に取り組むことで、輝かしい未来を創造することを目指します

### 基調講演

- Yensi FLORES-BUESO (Global Young Academy 共同代表  
Washington 大学/Cork 大学)
- 大崎 真孝 (NVIDIA 本社副社長・日本代表)
- 久間 和生 (農業・食品産業技術総合研究機構理事長)

### 科学の巨人との対話セッション

- Sir Kostya NOVOSELOV (国立 Singapore 大学教授・Nobel 物理学賞(2010年))
- F. Duncan HALDANE (Princeton 大学教授・Nobel 物理学賞(2016年))
- 森 和俊 (京都大学特別教・Lasker 賞(基礎医学 2014年))

### 実施セッション概要

(1) 全体セッション: 5件

若手/シニア研究者等の参加者全員(一般参加者除く)を対象に実施する(開/閉会式・ノーベル賞受賞者セッション等)

(2) コンカレントセッション: 21件

若手研究者等が主体となり、メインテーマに関する諸課題を議論する

(3) パブリックセッション/スペシャルセッション 9件

一般市民を含む幅広い参加者を対象に「社会と科学技術」の諸課題を議論する

例) 未来を形作る: e スポーツとビデオゲームが社会にもたらす変革の力/映画を通してウクライナを知る/アジア太平洋地域の新興メガシティにおける都市防災のスケールアップ: 研究・政策・ビジネスの視点から/水素の利活用に向けて重要な材料開発/インクルージョンとリテラシー: 人間科学と教育の視点から/終末時計 89 秒を生きるための新たな倫理へ向けて etc...

参加方法 筑波会議2025ウェブサイト参加登録より事前登録

※詳細は公式ウェブサイト参照 <https://tsukuba-conference.com/>

本件担当: 筑波大学広報局国際会議推進部門  
(筑波会議委員会事務局)  
TEL: 029-853-4158  
tsukuba-conference@un.tsukuba.ac.jp

## Key materials development for hydrogen utilization - 水素の利活用に向けて重要な材料開発

P-06 PUBLIC SESSIONS

日時: 2025年10月3日(金)13:30 - 16:30  
場所: つくば国際会議場 Room202A

Boniface P. T. Fokwa - カリフォルニア大学リバーサイド校 教授  
高鍋 和広 - 東京大学 大学院工学系研究科 教授  
折茂 慎一 - 東北大学 材料科学高等研究所 所長・教授  
坂本 正樹 - 株式会社やまなしハイドロジェンカンパニー 取締役  
足田 育之 - 株式会社デンソー 先端技術研究所 マテリアル研究部

Hydrogen Creation      Hydrogen Storage/Transportation      Hydrogen Usage

**Material development is the key to realizing a hydrogen society**

日本を含め世界中で取り組みが進められているカーボンニュートラル(脱炭素社会)では、次世代エネルギーとして水素が注目を集めている。しかし、水素の利用や活用には、「水素を作る」、「水素をためる・運ぶ」、「水素を使う」といった様々な場面において、技術面やコスト面で多くの課題が残っている。そこでカギになるのが、その工程で使用される金属などの「材料」だ。

筑波大学に今年4月に開設され、水素エネルギーの材料開発において最先端を走る本学の「ホウ化水素研究センター」が日本と世界のトップ研究者を招き、彼らに世界の動向と課題、現在の取り組みと、更に今後の展望などについて語ってもらう。

## Getting to know Ukraine through film - 映画を通してウクライナを知る

P-04 PUBLIC SESSIONS

日時: 2025年10月3日(金)13:30 - 16:30  
場所: つくば国際会議場 Hall200

梶山祐治 - 筑波大学 国際局准教授  
Kukhar Daryna  
- JETRO, Stand with Ukraine Japan,  
Ukrainian Japan  
Panchuk Daria  
- Tokyo-based Ukrainian book & Film Club  
"Literaturni Vechornytsi" 主宰  
矢田部吉彦 - 前東京国際映画祭ディレクター



1970年公開のユーリー・イリエニコ監督『黒い模様のコウノトリ』を本邦初上映する。本作は第二次世界大戦前から戦後にかけて、ルーマニアと国境を接するウクライナ西部の村に生きる音楽一家が、ルーマニアやソ連など周辺国の支配に翻弄される苦難を描いており、現在のウクライナの姿にも重ねられる。

本作はまた、1960年代のソ連の雪解けによって、ウクライナ語の使用や表現の一時的緩和が影響し生まれた「ウクライナ詩的映画」と呼ばれる、民族色を打ち出した色彩豊かな作品群の代表作だ。そのため、ウクライナ国内から評価が高く、歌や踊りなど多彩な文化を映した、ウクライナを代表する重要な作品として位置づけられている。映画上映後に、登壇者によるウクライナとウクライナの文化への理解を深めるためのシンポジウムを行う。